

第19回未来教室 渋谷区立広尾中学校

1、学校名 渋谷区立広尾中学校

校長 永浜 裕之 様 (副校長)

2、住 所 渋谷区東4-13-25

最寄駅 ・渋谷駅バス 日赤医療センター 国学院大前下車歩5分

3、授業内容

○教科 「総合的な学習の時間」(キャリア教育)・環境学習

※ 環境学習発表会 事前指導

4、開催日時 平成24年9月14日(金) 1学年

時 間 (50分授業)

・4時間目 11:45~12:35 (ランチルーム)

5、実施学年

・1学年 2クラス合同授業 (2クラス70名)

6、授業内容の詳細

- ・環境教育(様々な環境を通して環境教育に関心を持つ)
- ・環境問題について自分の活動の参考にする。

7、ご協力企業

・東レ株式会社

授業者—ACM技術部 岩沢茂郎様

当日の様子



渋谷区立広尾中学校「未来教室」参観記

認定特定非営利活動法人おやし日本

学校と企業との連携担当 高島信義

「持続可能な社会と先端技術とのかかわり」これが本日のテーマでした。今日は、1年生72名の授業です。時間より多少早く視聴覚室に集合した生徒たちは、自分たちが進めている「環境学習」の発表会に役立てようと、内容はもとよりプレゼンの仕方も学び取ろうとしていました。実験をかみ合わせた、東レが開発した「中空被膜」の実験に身を乗り出し、ジュースや牛乳が濾過され真水に近くなっていく様子、また、その原理を機材を使っでの説明、必要に応じて問われる、授業者の質問に多くの生徒が反応するなど一体となって授業が進みました。

また、最近、話題になったボーイング787で使用された「炭素繊維」の説明でも、様々な素材を使用し、生徒たちが体験しながら理解できる工夫は、授業者の長い間の研究者としての思いが伝わり、また、一方で、「働くということ」「生きる楽しさ」「自分の仕事への誇り」などが言葉の端々に伺われ、キャリア教育の一環としても十分に納得できる授業になりました。

まとめとして、提案した生徒たちへの問いかけ「人口増加が環境に及ぼすこと」「地球温暖化の及ぼす影響」に対応する、先端技術との関係は、環境問題に取り組む、生徒たちにとって、考えをまとめるいい機会になりました。水不足に悩む地域での「中空被膜」の果たす役割、また、地球温暖化に影響を与えている二酸化酸素の削減に効力を発する「炭素繊維」役割は、環境問題で社会に貢献することがよく理解できたようです。様々な課題を持って取り組んでいる生徒たちにとって、この授業を通してさらに深まり、研究発表に向けて示唆に富んだ授業になりました。